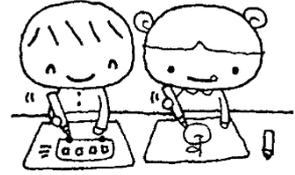


おひさま



令和6年2月29日

<今月の満3星3・4組さん>

○節分の会

始まる前は「先生を守ってあげる。」と強気で言っていましたが、鬼の声が放送で流れて、鬼がやってくると、教師の後ろに隠れるお友達もいました。それでも、鬼に向かって、怖がりながらも、新聞紙で作った豆をたくさん投げて退治しようとする子もいました。鬼が廊下を通り過ぎたので、「バンザイ」喜んでいました。「こわかった。」「こわくなかった。」とそれぞれ話しているいい経験になりました。

○作品展の片付け

星3 ぞうさんの鼻のトンネルをくぐったり、かばさんに乗ったりして遊びました。今まで大事にしていた作品に乗るときは「えっ。」と驚いた様子でしたが、乗り始めると喜んで「私も！」と何回も乗っていたお友だちでした。

星4 「大きなホットケーキ食べちゃおう。」と言いながらみんなで壊したり、「お家のお花とろう。」と言ってお花をとったりして遊びました。テーブルやキッチンセットは、しばらくとっておいて午後の自由遊びに大活躍です。

<今月の年少星組さん>

○作品展

作品展では自分たちの作った作品を嬉しそうにお家の人に紹介する姿がありました。「これは、〇〇で出来ているんだよ。」と材料を伝えたり「こうやって作ったんだよ。」と作り方を自信をもって伝えたりする姿がありました。とてもうれしく感じました。また、お家の人が必要なお鍋の下の火がついていることに気づいて「火がついている。」「お料理中。」と言ってくれ、とても嬉しかったです。お家の人にいっぱいほめてもらって、誇らしげでした。

○年長さんにプレゼント

年長さんが、もうじき卒園するので、プレゼントを作りました。「年長さんはどんな事してくれた？」と聞くと「優しくしてくれた。」「遊んでくれた。」「手をつないでくれた。」等いっぱい出てきました。「ありがとうの気持ちを込めて作ろうね。」「年長さんには内緒にしておこうね。」とお話すると、みんなにこにこしながらプレゼントを作りました。

<今月の年中花組さん>

○作品展が終わって

2組さんは、一番大きいロバにのったり、制作物の中に入ったりして楽しみました。1組さんは、船に乗ったり、制作物の中に入って桃太郎になったり、動物になったりして楽しみ、絵本の世界に浸りました。子どもたちも満足の作品展になりました。いろいろなクラスのテーマとなった絵本を全部読んでみました。作品展と絵本のお話を結び付けていました。

○縄跳び大会

1月から毎朝、練習をしてきました。最初は、全然跳べなかったお友だち、跳べなくて練習するのもいやだったお友だちも、毎日毎日練習するうちに少しずつ、跳べるようになっていきました。「先生、数えて。」「今日、最高記録。」「もう一回数えて。」「今日は20回跳ぶんだ。」と毎日がんばってきました。縄跳び大会で跳べた回数はその子その子で違いますが、花組さん全員が毎日、練習することで、上手になっていくことを経験できたことがとてもうれしいです。1番跳べたお友だちも、最初は1回も跳べなかったお友だちです。

<今月の年長雪組さん>

○作品展ありがとうございました

作品展前日は、自分の作品をお友達の近くに置いたりグループ制作の近くに置いたりしました。「明日はお家の人ほどの材料で作ったか分からないから教えてあげる。」と張り切っていました。当日は「これは〇〇で作ったんだよ。」絵本を見せながら「この場面を作ったんだよ。」と教えてあげていた子供たちです。「アリババと40人の盗賊」の宝物の洞穴に入ったり「不思議な国のアリス」のティーパーティの椅子に座ったりして喜んでいました。片付けでは1組「宝物が欲しい」と言ってみんなで分けていました。「盗賊になった気分」2組「寂しい」と口々に言っていました、一旦片付け始めるとダイナミックに壊して喜んでいました。

○ひらがなのおけいこ

ひらがなワーク最後のひらがなでした。最後と分かって「よっしゃー！」と言っていた子どもたちですが「ふ」と「を」でバランスがむずかしい字だったので、苦戦していました。「を」が頭につく言葉は「ないね。」「ないよね。」という子と「おす」「おにぎり」と「お」のつく言葉をはじめ考えていた子もいました。「〇〇を〇〇するという時に使うんだよ」と話が落ち着きました。よく知っているね。年中さん11月から頑張りましたね。